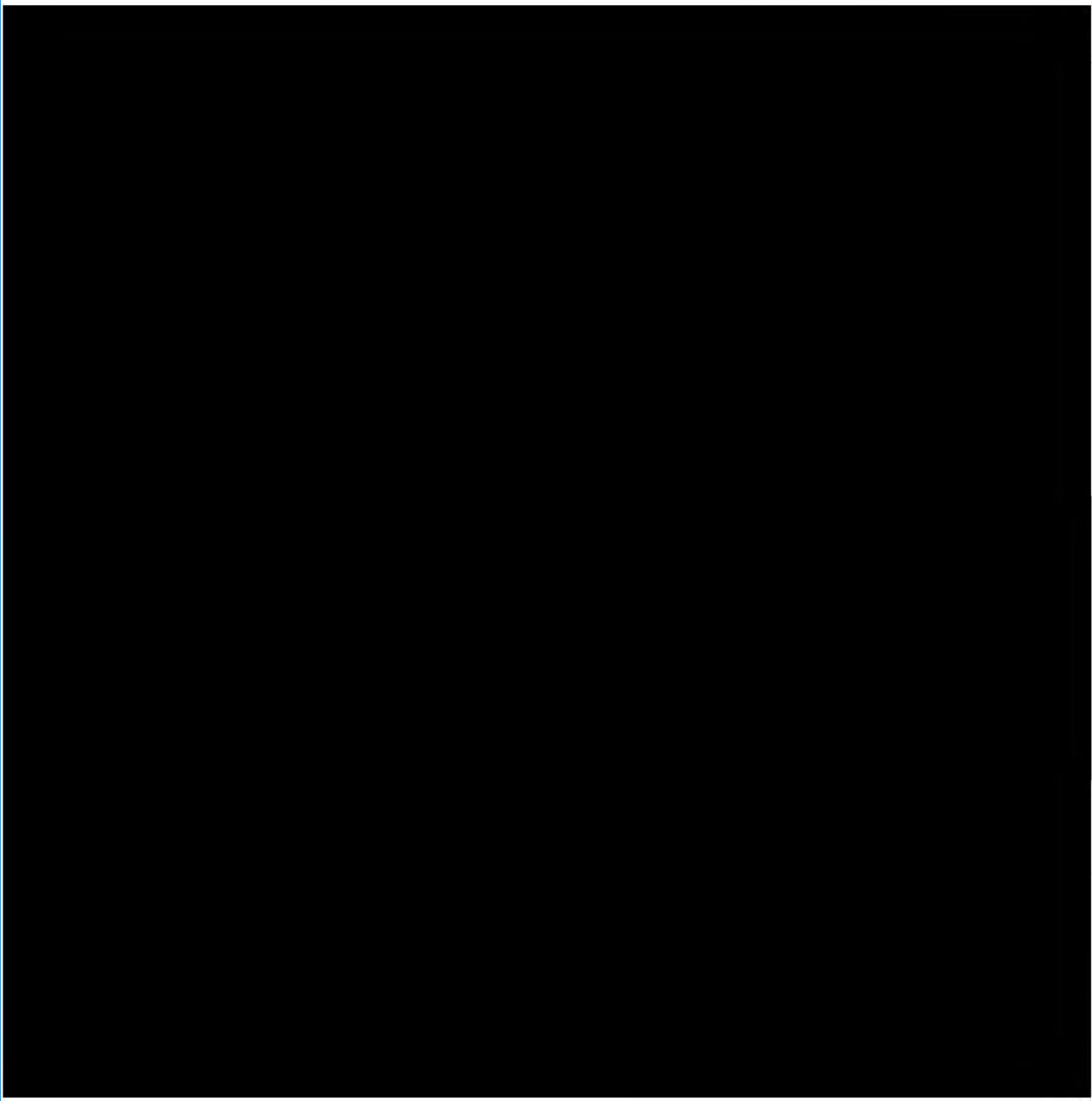


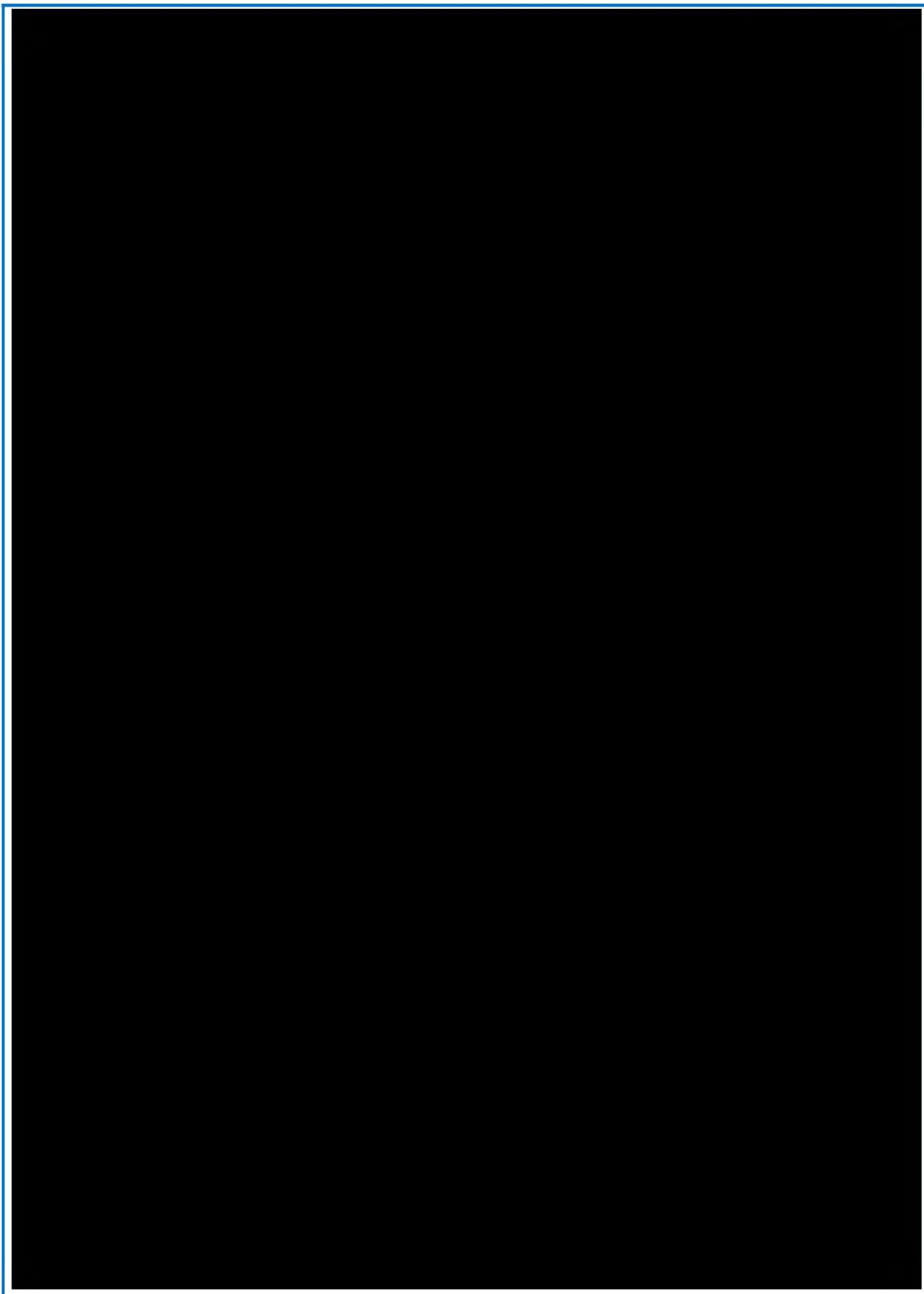
事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

Ⅲ－８	大規模集客事業の実施方針
<p data-bbox="268 416 699 454">(1) 大規模集客事業の実施方針</p> <p data-bbox="233 456 1359 555">当グループでは、地域の人口増加傾向を踏まえ、スポーツ・文化イベントを通じた国内大規模集客事業を推進します。地元自治体との連携を軸に、地域課題やニーズに即したイベント企画を行い、観光・交通・宿泊など周辺インフラとの協調によって来場者の利便性を高めます。</p> <p data-bbox="233 557 1359 622">また、競技団体や専門事業者との協働により、公式大会やエンタメイベントの誘致を図り、広域からの集客を実現します。</p> <p data-bbox="233 624 1359 723">若年層やファミリー層の増加に対応した参加型企画やプロモーションを展開し、地域住民の関心と参加意欲を高めます。さらに、安全・快適な運営体制を整備し、誰もが安心して楽しめる環境づくりを推進し、地域経済の活性化と都市ブランドの向上を目指します。</p> 	

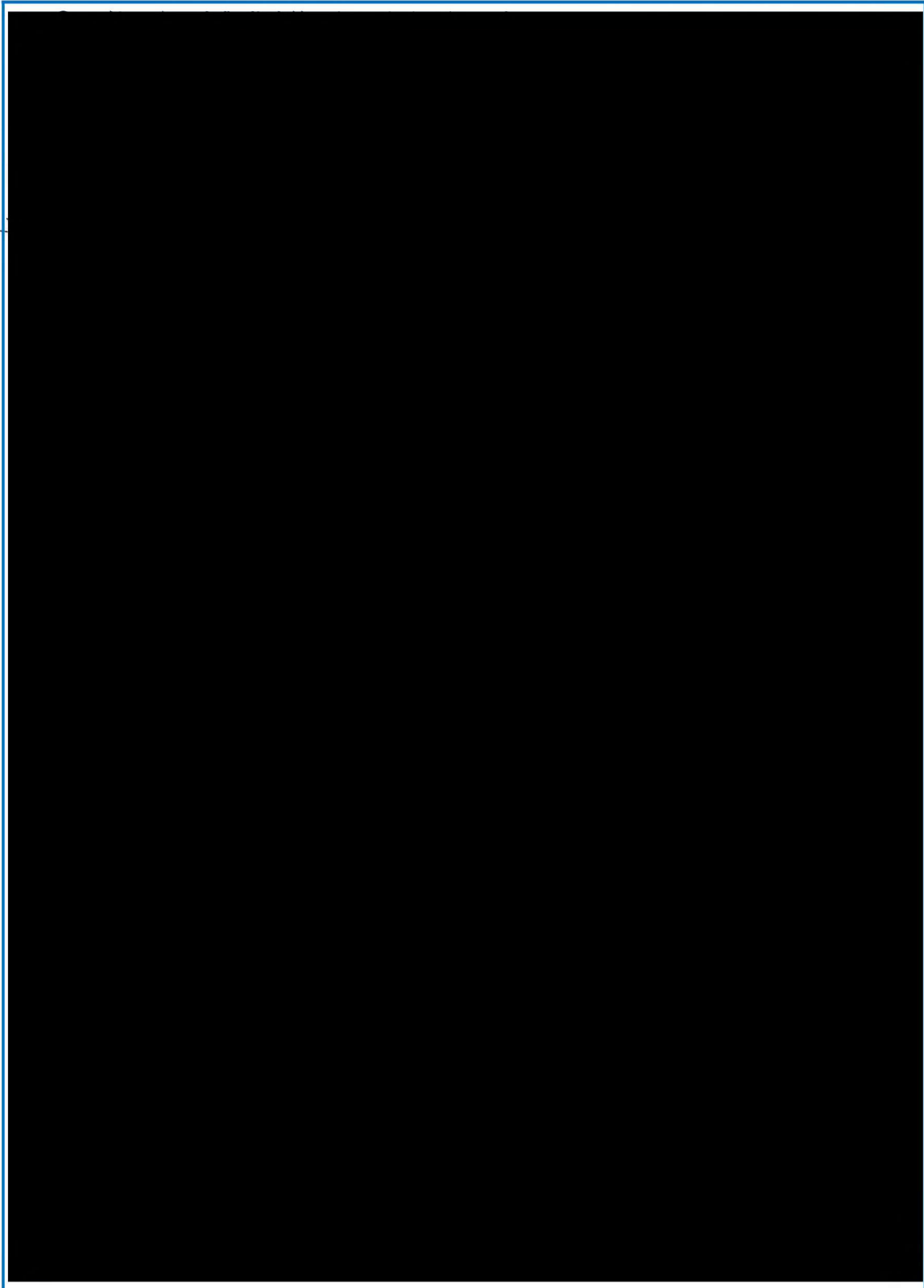
事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

●ワールドマスターズゲームズ 2027 関西

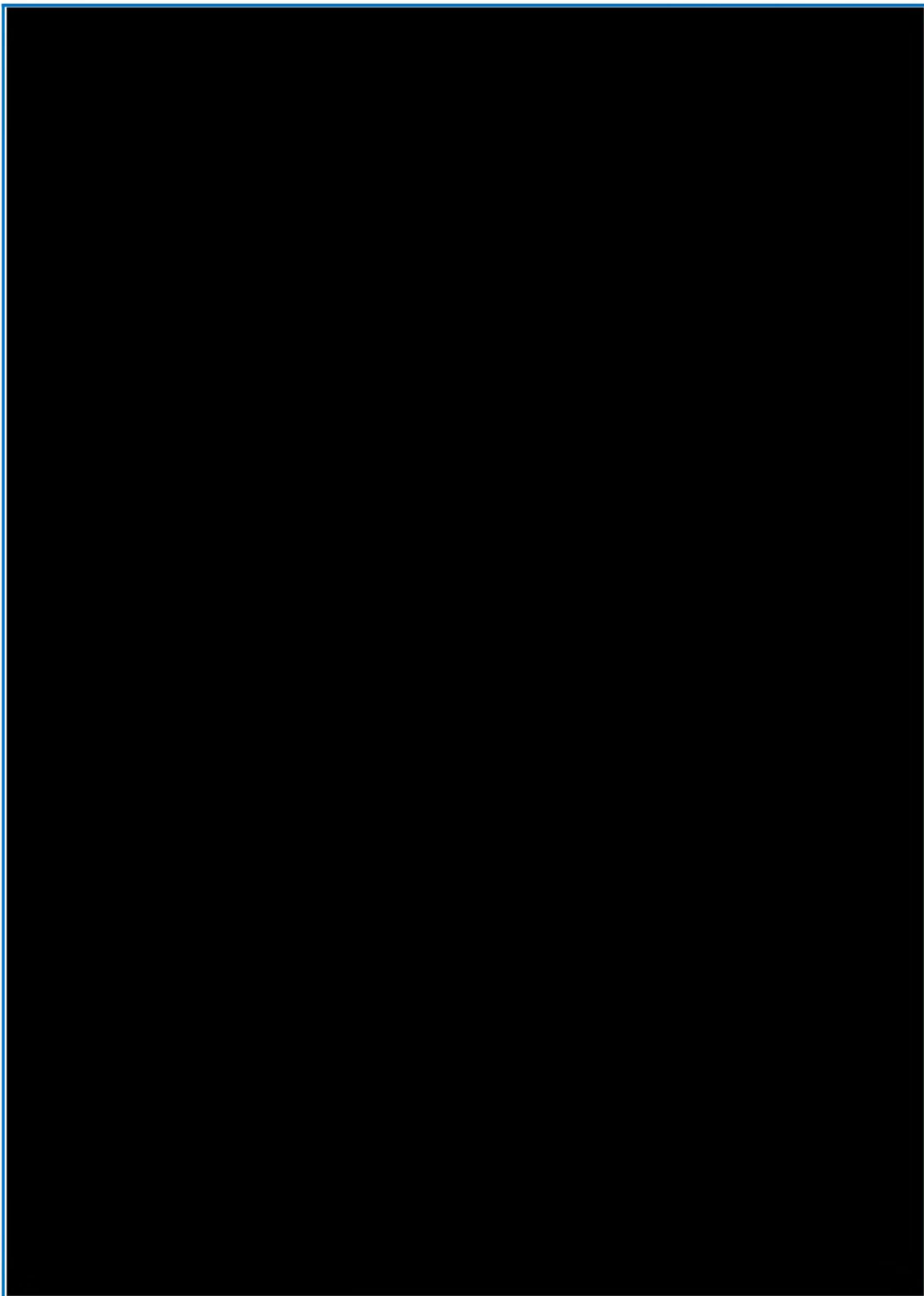
2027年には、草津グリーンスタジアムがソフトボール競技の会場となります。世界中から集まる生涯スポーツ愛好者を迎える国際大会として、草津市の魅力を発信する絶好の機会となります。

これらの大会は、草津市のスポーツ施設や地域資源を最大限に活用し、全国・国際的な注目を集める重要なイベントです。当グループとしても、施設運営、ボランティアの育成・活用、地域との連携強化など、多方面から積極的に支援し、草津市のスポーツ振興と地域活性化に寄与してまいります。



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

Ⅲ－９	申請者の提案
<p data-bbox="268 421 560 454">(1) 開館時間の提案</p> <p data-bbox="233 459 1359 622">提供するサービスの向上を図り、利用者サービスの向上策として、多くの人々が最初に思い浮かぶ開館時間の延長・休館日の減少といった開館条件の設定変更は、一見、利用者の立場にたった良策であると思われがちですが、いたずらな営業の延長は、利用者の増加につながらず、経費の増加ばかりを引き起こします。またこれまでの管理経験より適正にメンテナンスを行い、高い競技環境を整えるためには、休館日の設定はなくてはならないものと認識しております。</p> <div data-bbox="233 638 1359 1160" style="background-color: black; height: 233px; width: 100%;"></div> <p data-bbox="277 1176 592 1207">①開館時間、休館日の設定</p> <p data-bbox="233 1211 1359 1375">草津市社会体育条例および草津市都市公園条例に基づき、各施設・諸室の団体利用については、午前・午後・夜間の時間帯に区分して運用されています。これらの時間設定は市民に広く定着しており、午前９時以前や午後９時３０分以降の開館を求める声は少数にとどまっています。そのため、開館時間の延長は費用対効果が見込めず、結果としてコスト増加による市の財政負担につながる可能性があります。</p> <p data-bbox="256 1379 876 1411">以上の理由から、現行の開館時間を維持する方針です。</p> <div data-bbox="233 1440 1359 1888" style="background-color: black; height: 200px; width: 100%;"></div>	

事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

②イベント・大会時の早朝・深夜利用への対応

本施設では、地域のスポーツ振興および多様なイベントの円滑な開催を支援するため、通常の運営時間外となる早朝・深夜の施設利用についても、可能な限り柔軟に対応いたします。

イベントや大会の特性に応じて、施設の開閉館時間を調整し、主催者・関係者のご要望に沿った運営が行えるよう努めます。これに伴い、必要な人員体制の確保や設備管理の強化を図り、安全かつ快適な環境の提供に努めます。

また、近隣住民への配慮を十分に行いながら、騒音・交通面での対策を講じ、地域との調和を保った運営を目指します。関係機関との連携も適切に行い、法令遵守のもとで安心してご利用いただける体制を整えてまいります。

(2) 使用許可の受付について

指定管理者として、市の代行者である責任とその業務の重要性を十分に認識し、「公平性・平等性」を最も重視した対応を行います。特定の利用者を優遇したり、不当な差別を行うことのないよう、すべての利用者に対して公平かつ透明性のある運用を徹底します。

そのために、内閣府が定める「公共サービス窓口における配慮マニュアル」や、独自に策定した運用マニュアルを活用し、職員への教育・研修を通じて接客対応の質を高めます。特に、利用者との直接対応や電話対応においては、差別的な扱いが生じないよう従業員の意識啓発を継続的に行います。

また、各種サービスの提供に際しても、利用者の属性によって対応が変化することのないよう、採用時からの教育体制を整備し、特にハンディキャップのある方々が安心して公平に施設を利用できる環境づくりに努めます。

●予約の優先順位の徹底

施設の公平な利用を確保するため、予約受付においては「優先順位のルール」に基づいて利用調整を行います。これにより、特定の利用者や団体に偏った利用が起きないように配慮し、すべての市民が平等に施設を利用できる環境を整えます。

使用許可はルールに則って公正に判断し、各利用団体の活動を適切に支援します。公平性を保ちながら、地域の多様なニーズに応える施設運営を目指します。

事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

●関係団体とのスケジュール調整会議について

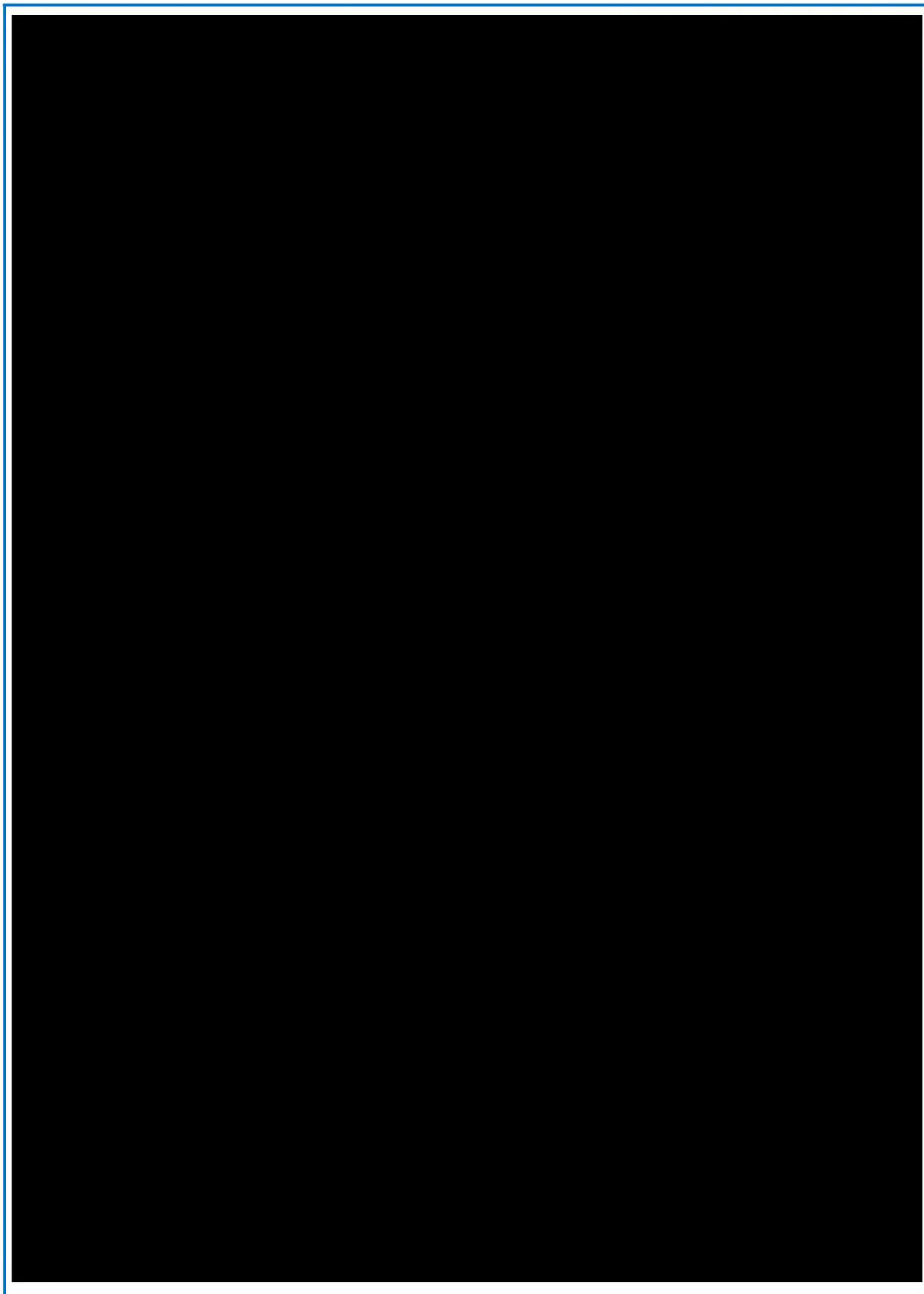
当グループの最大の強みは、市内のスポーツ関係団体との調整を円滑に進められる点にあります。これは、単なる連絡調整にとどまらず、各団体の活動方針や年間スケジュール、地域のイベントとの兼ね合いなど、複雑な要素を踏まえた上で、最適な調整を実現できるという高度な能力を意味しています。このような調整力は、一朝一夕で身につくものではありません。

私たちのグループは、長年にわたり地域のスポーツ振興に携わってきた実績と、現場で培われた経験をもとに、信頼関係を築いてきました。各団体との間には、単なる業務上の関係を超えた深い理解と協力体制があり、それが調整業務の円滑化に大きく寄与しています。

その結果、地域のスポーツイベントや施設利用において、無理なく、かつ効果的なスケジュール調整が可能となり、関係者全体の満足度向上にもつながっています。

事業運営に関する計画

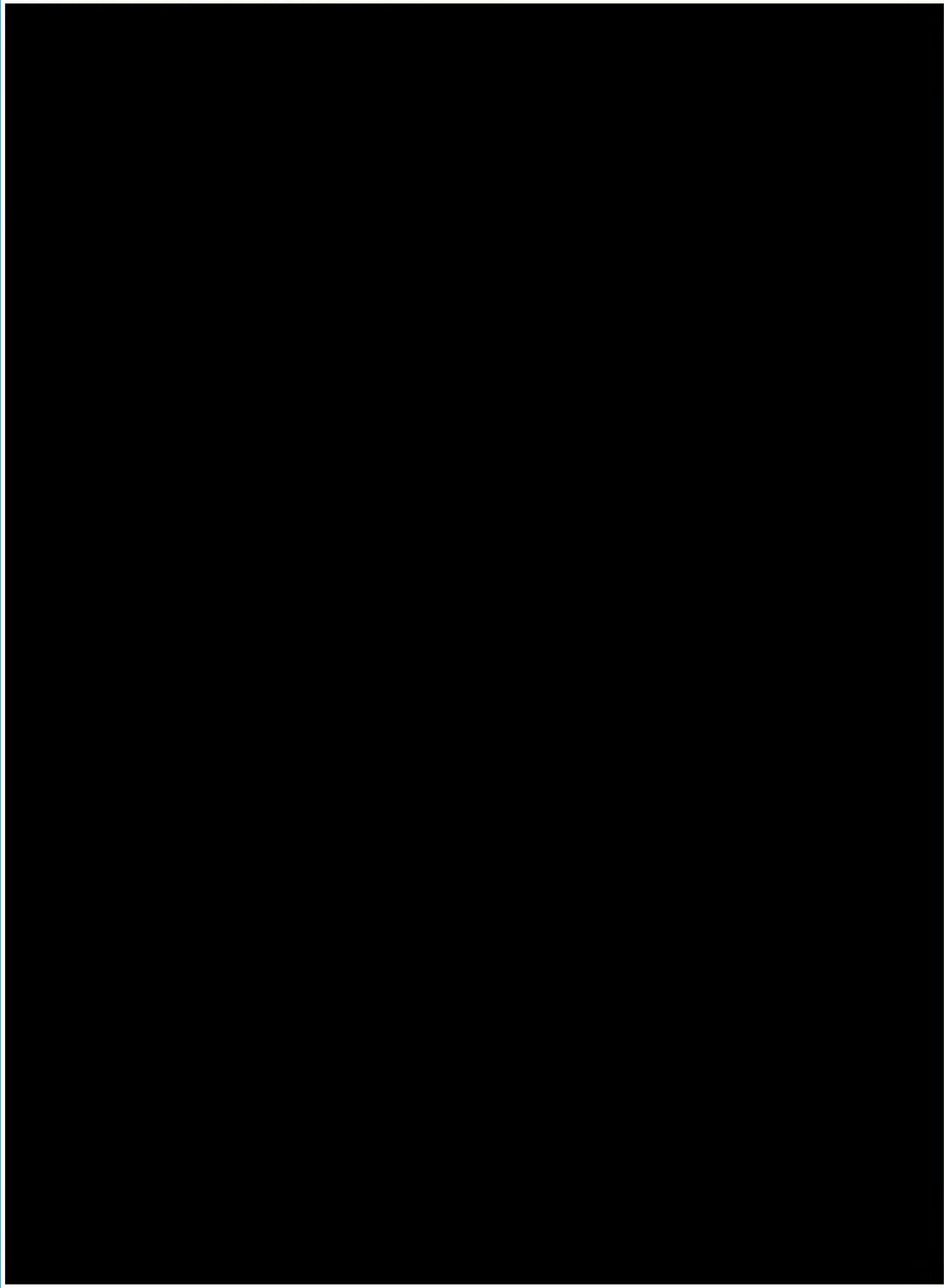
(草津市立社会体育施設等)



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

(3) デジタル技術の活用について



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

(4) 自主事業について

①市民のスポーツ参加の増加や健康増進に資する考え方

現指定管理者（構成団体：草津市スポーツ協会）は、これまでの指定管理期間において、地域住民のニーズに応じた自主事業を積極的に展開してきました。これらの取り組みは、施設の設置目的である以下の点に沿ったものであり、地域社会への貢献を果たしています。

②市民の健康と生きがいを育む自主事業について

自主事業は、スポーツ・レクリエーション活動を通じて、市民の明るく豊かな健康ライフの実現を目指す取り組みであり、地域コミュニティの形成にも大きく寄与するものです。

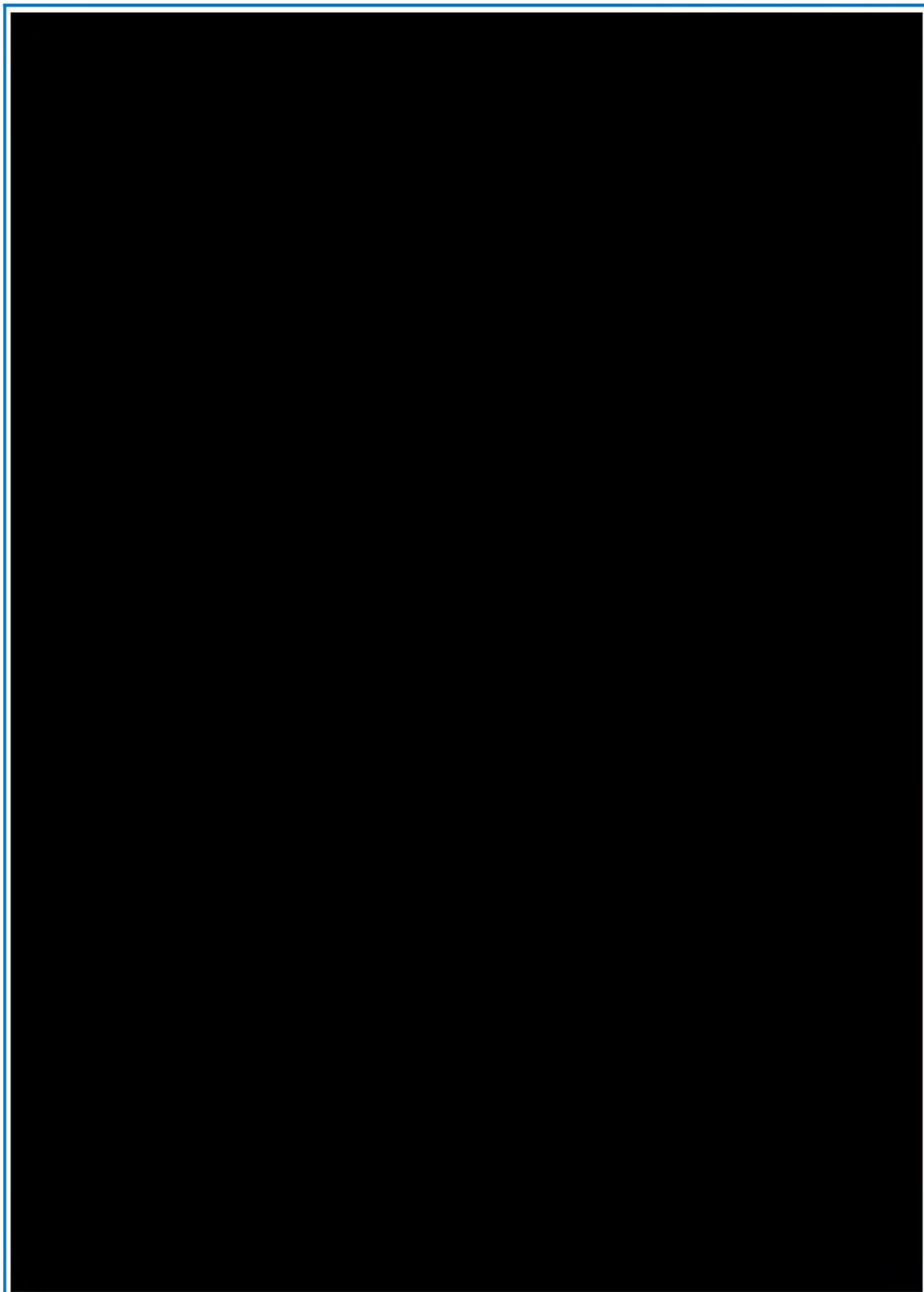
「生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しむ」をテーマに、利用者のニーズを反映し、特定のターゲットに偏ることなく、誰もが身体を動かすことを楽しめるよう、多様な事業を展開しています。

また、公共施設の根幹である「公平性・公共性」を重視しながら、草津市のスポーツ推進計画に基づき、ライフステージに応じた「する・みる・ささえる・知る（学ぶ）」スポーツの提供を推進。さらに、スポーツの枠を超えて、福祉・育成・文化などの分野とも連携した取り組みを進めることで、市民が主役となる生涯スポーツ活動のさらなる活性化を図ります。

令和5年度にスポーツ庁が公表した「スポーツ施策に関わる課題の整理」では、成人の週1回以上のスポーツ実施率を52%から65%へ引き上げることが目標とされています。当グループは、草津市第2期スポーツ推進計画の理念『「する みる 支える 知る」“ALLくさつ”でつながる健幸スポーツのまち くさつ』に基づき、ライフステージごとの阻害要因（時間の制約、体力の低下など）を分析。「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方を尊重し、誰もが参加できる「多様なスポーツ」と交流を促す「つながるスポーツ」の普及を目指します。健康・まち・居場所づくりを通じて、地域課題の解決に貢献する拠点施設としての役割を果たします。

事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

③現在の自主事業の継続

これまでに培ってきた自主事業の成果と地域からの信頼を踏まえ、今後も引き続き既存事業の継続的な実施を図ってまいります。特に、地域住民の健康増進や交流促進を目的としたプログラムについては、参加者のニーズに応じた内容の充実を図りながら、安定的な運営を目指します。

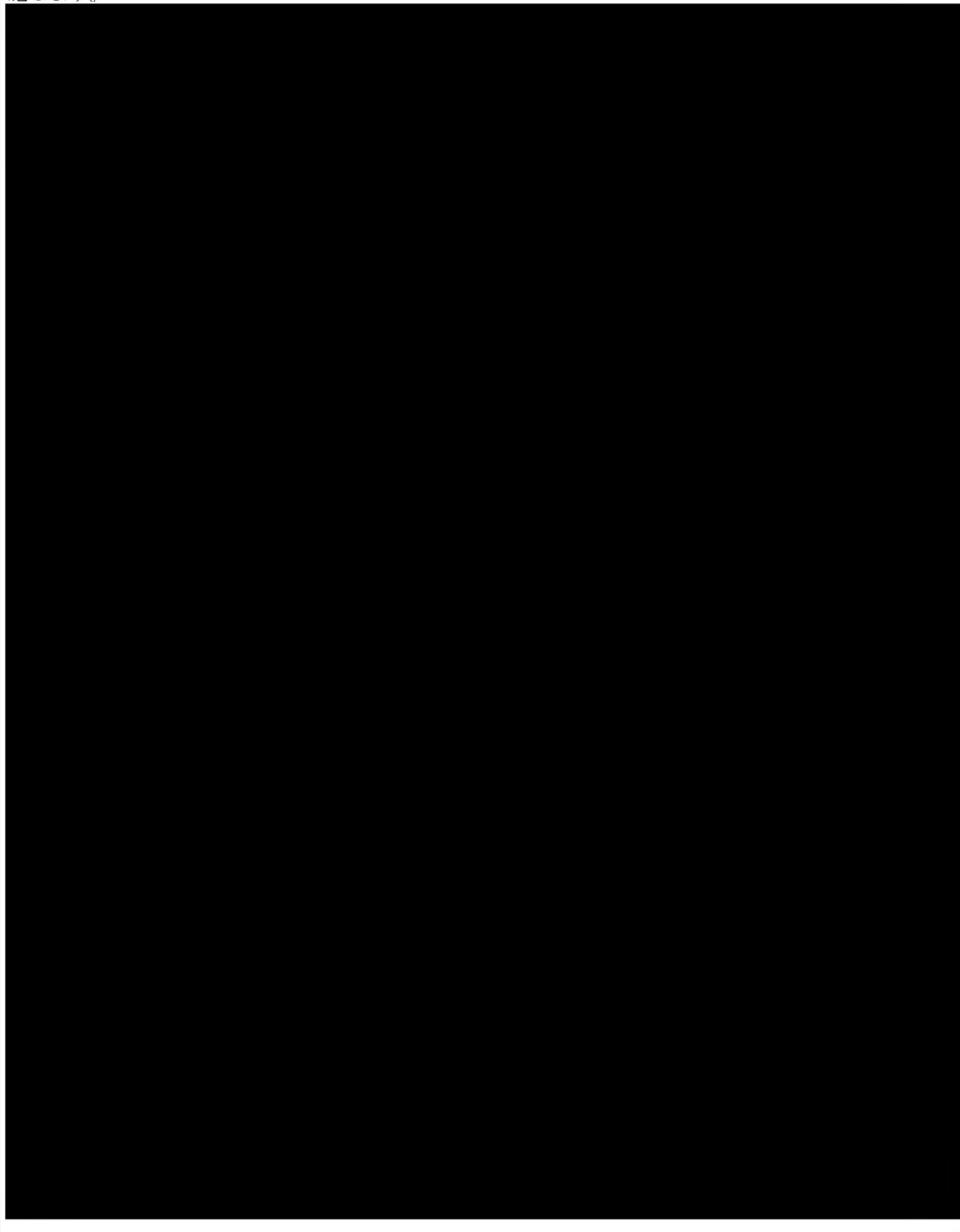
また、継続事業の中でも特に好評を得ている講座やイベントについては、定期開催の体制を整えるとともに、広報活動の強化を通じて参加者の拡大を図ります。これにより、地域に根差した事業としての定着を促進し、さらなる発展につなげていきます。

事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

④具体的な教室プログラムについて

自主事業を行うに当たって、団体利用者や個人利用者に優先して自主事業の実施枠を確保することは致しません。実際の施設の予約状況、利用者動向を参考に、比較的用户の少ない時間帯に自主事業を実施します。



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

(5) その他の提案

①滋賀国民スポーツ大会後の事業展開について

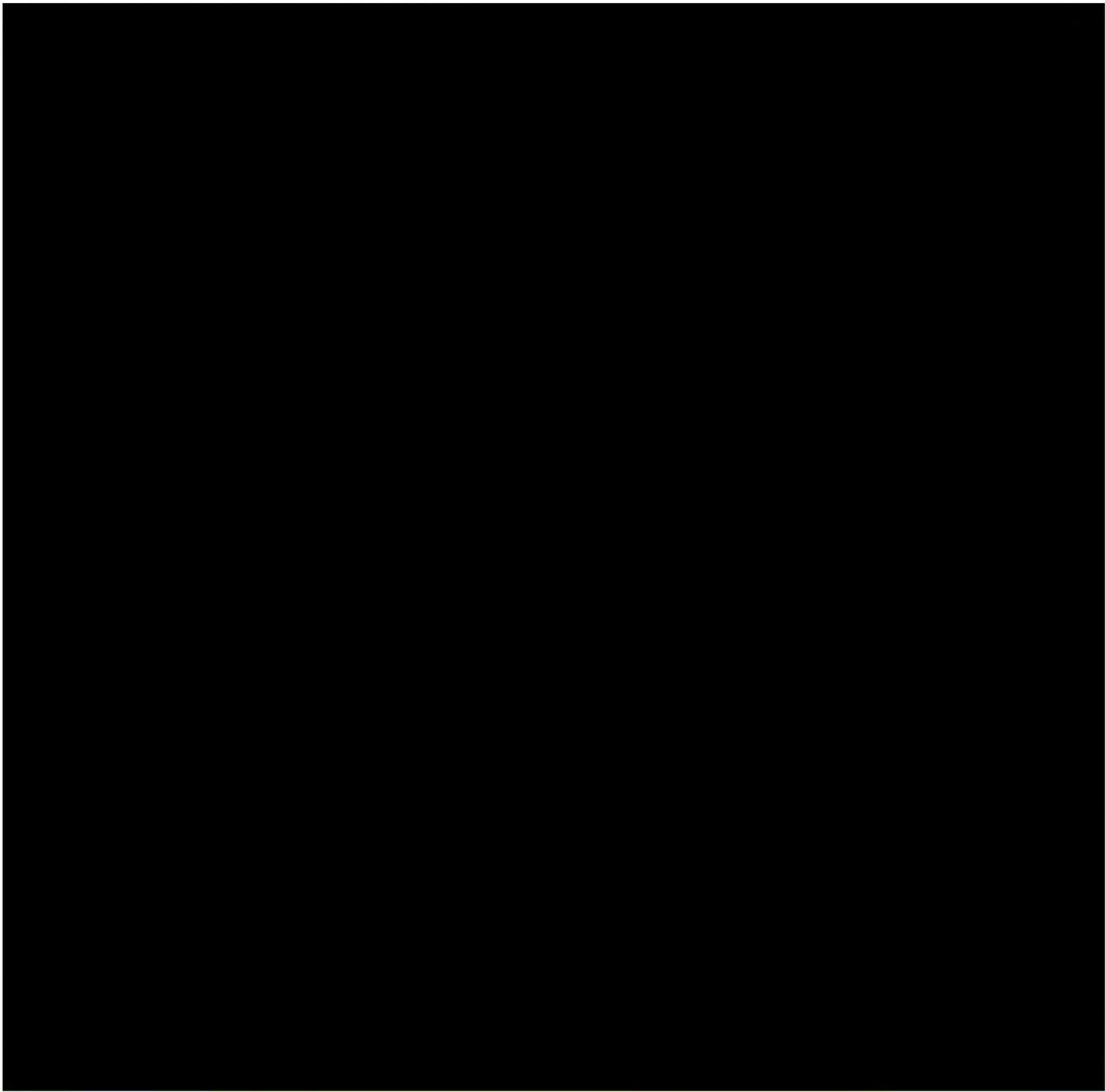
草津市では、第2期スポーツ推進計画の基本方針として「競技スポーツの推進」が掲げられています。この方針に基づき、当グループ代表である草津市スポーツ協会は「草津市から国スポへ選手を」を合言葉に、地域のアスリート育成に力を注いできました。

特にバスケットボールやレスリングの教室では、滋賀レイクスターズと連携し、小学生・中学生を対象にした育成プログラムを継続的に実施。子どもたちの可能性を広げる場を提供してきました。

滋賀国民スポーツ大会は、新型コロナウイルスの影響で開催が遅れ、選手育成にも大きな困難がありました。この積み重ねてきた活動をここで終わらせるわけにはいきません。

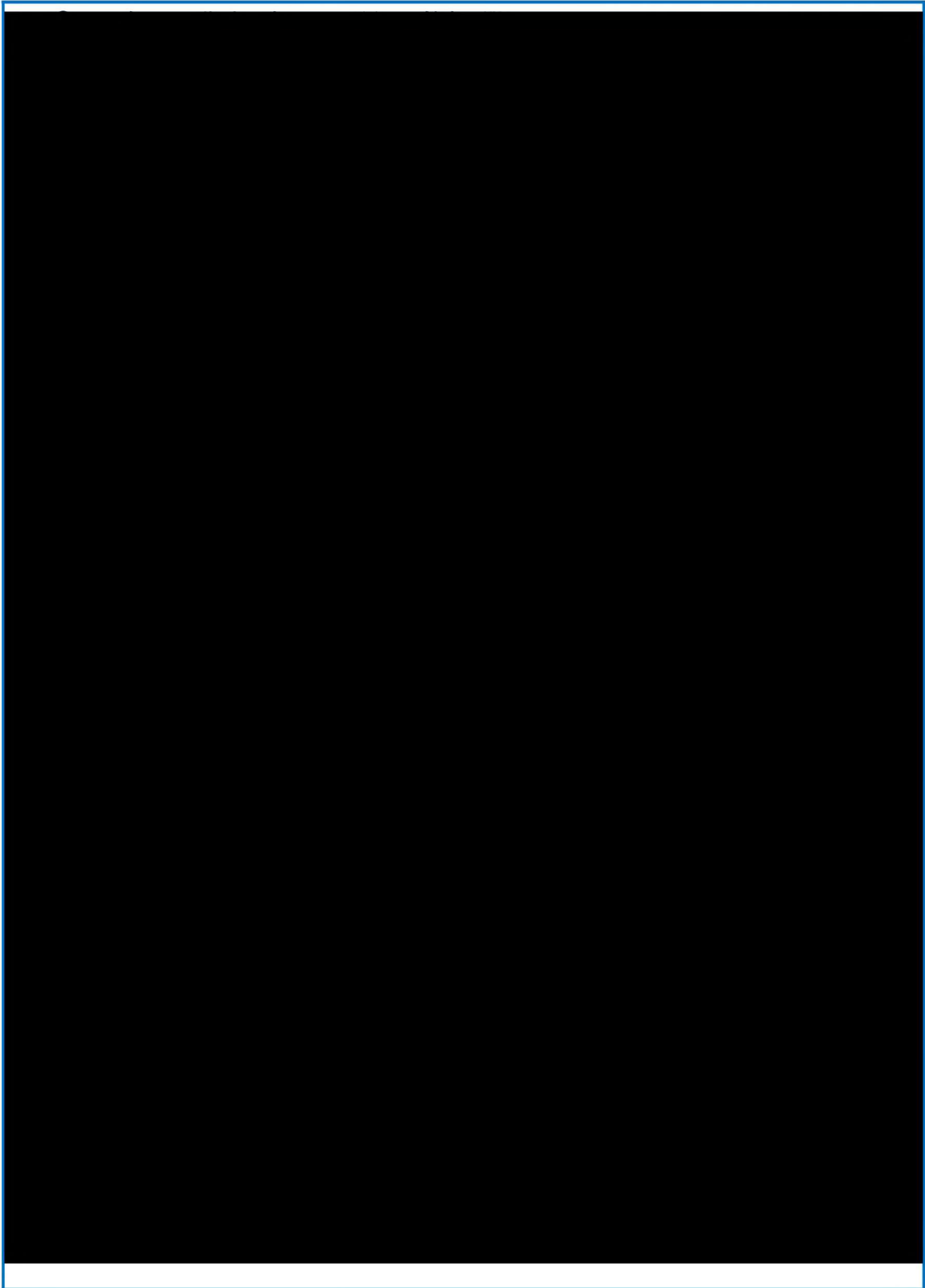
これからは、**国スポ開催後も育成事業を継続**し、スローガンを新たに「**草津市から世界へ選手を**」と掲げ、地域から世界へ羽ばたくアスリートの育成を目指してまいります。

●滋賀国民スポーツ大会後の新たな挑戦



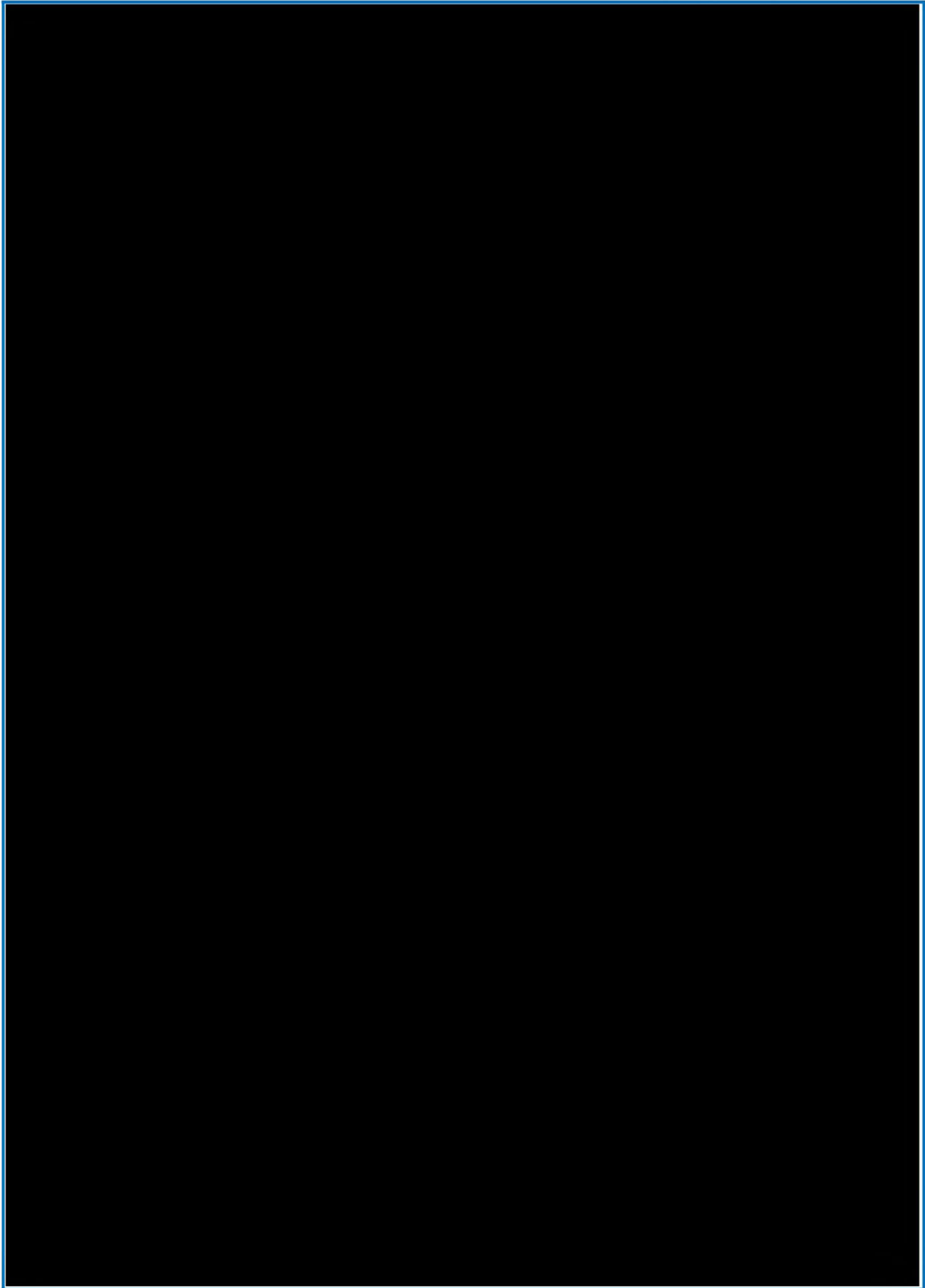
事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)



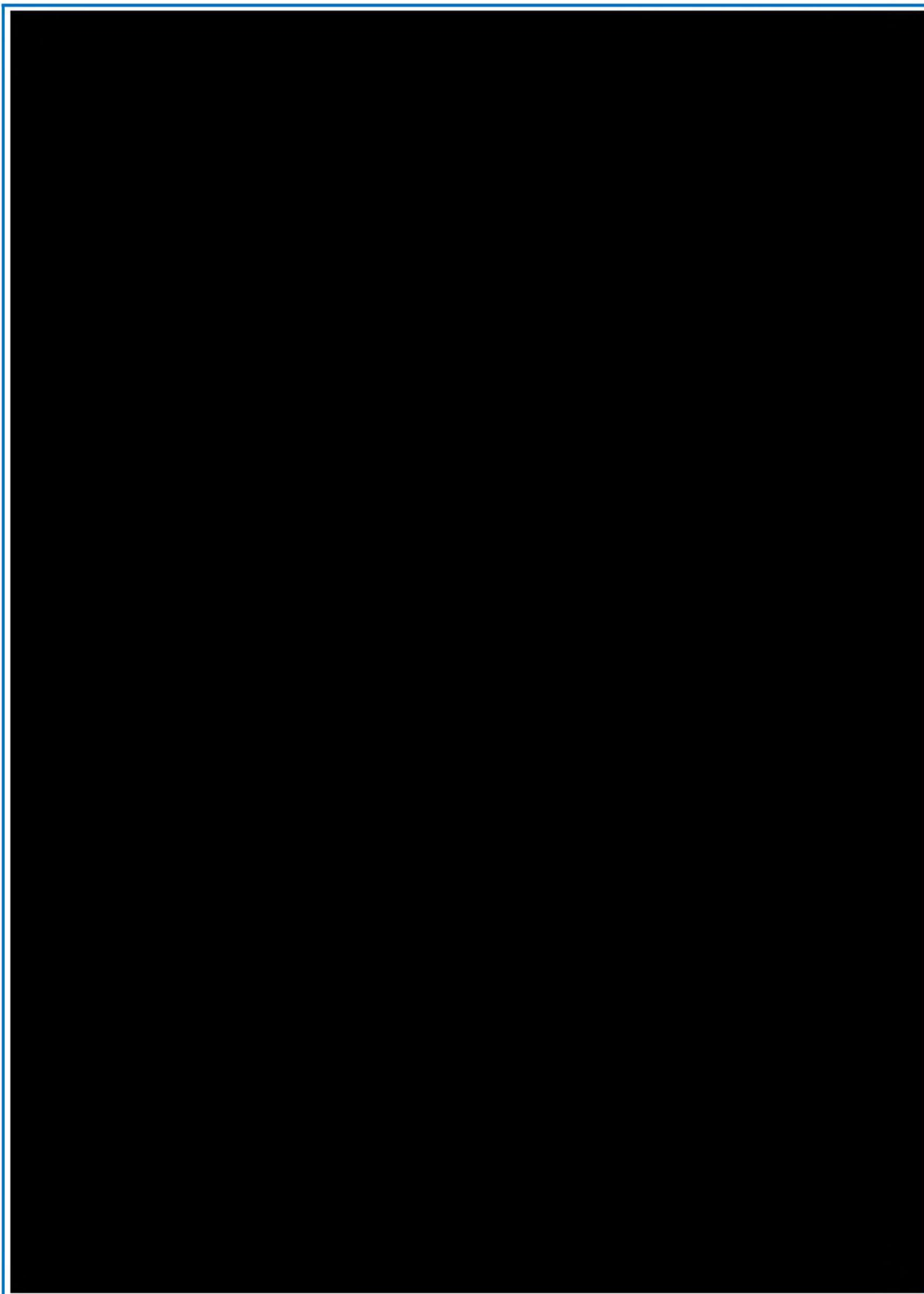
事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

Ⅲ-10	地域貢献
(1) 地域への貢献の提案	
①スポーツ振興に向けた地域連携	
<p>私たちのグループの代表である草津市スポーツ協会は、草津市において、市内のスポーツ団体と連携しながら、地域に根ざしたスポーツ振興を長年にわたり進めてきました。</p>	
<p>地域のスポーツを活性化するには、地域社会とのつながりが欠かせません。これは、指定管理者としての活動においても非常に重要な要素です。</p>	
<p>私たちは、地域に密着した施設運営を目指し、地元のサークルや利用団体、自治会などの市民団体との協働を大切にしています。</p>	
<p>また、地元企業や商店との連携、市内の公共施設と協力した自主事業の開催などを通じて、地域の皆さまと「パートナーシップ」を築いています。</p>	
<p>くさつシティアリーナ、総合体育館では、プロスポーツチームとの連携による教室やイベント、地域の食文化を楽しむ「イナズマフードフェス」など、多彩な取り組みを展開しています。</p>	
<p>今後も、立場や利害を超えて協力し合い、互いに刺激を受けながら、地域全体の活性化と持続的な発展に貢献していきます。</p>	
<p>市民の皆さまとの交流を通じて、利用者サービスの向上につながる良い取り組みを積極的に学び、より良い関係づくりを目指します。施設との関わりを深めてもらうことで、事業への理解と協力が得られ、スポーツ参加率の向上や市民交流の活性化にもつながると考えています。</p>	

事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

②地域と協働することの重要性について

- ・当グループは、「公の施設」をあずかる指定管理者として、心構え（施設の特徴・利用サービスへの期待・潜在能力などの認識）と、必要な資質（公共性に対する理解）をこれまでの指定管理者運営のなかで培ってまいりました。
- ・地域への働きかけはもちろん、イベントを実施する際には、当グループの利益だけではなく、公共性・公益性を重視し、関係者すべての利益を考えた協働・連携を図ってまいります。
- ・新規の団体・サークル活動の募集を行う場合や、本施設近隣の学校・公共施設との連携には、情報の共有化が必須となります。インターネットのリンクページはもちろんです。が、便宜的・効率的なものだけでなく、人と人とのつながり（コミュニケーション）で育む力が本当の地域活性の意味と考えます。
- ・例えば、パンフレットやイベント案内の近隣施設への相互配置・更新を含めて、顔と顔が会える機会を大切にいたします。
- ・本施設は草津市のスポーツ振興の核となる施設であり、より一層施設の「認知度」を向上させるとともに、利用者の利便性向上に寄与していきます。
- ・事業を実施する場合には、単体施設としての役割だけでなく、意見を収集する場、情報を公開する場、事業を協力して実施する場など、地域との協働・連携をスタート地点として運営をいたします。ともに、利用者の利便性向上に寄与していきます。
- ・「指定管理者」として「公共施設の管理者」としての目的を達成し公共施設の機能を発揮し、スポーツ・レクリエーションの振興、健康増進、子どもや高齢者・障がい者を含めた多様な人々の交流の場作り、地域活性化などの活動に取り組み、実現できるよう、様々なイベントを各施設と連動したかたちで行います。

③地域団体・市内企業・市内施設との連携

●草津市スポーツ協会加盟団体との連携

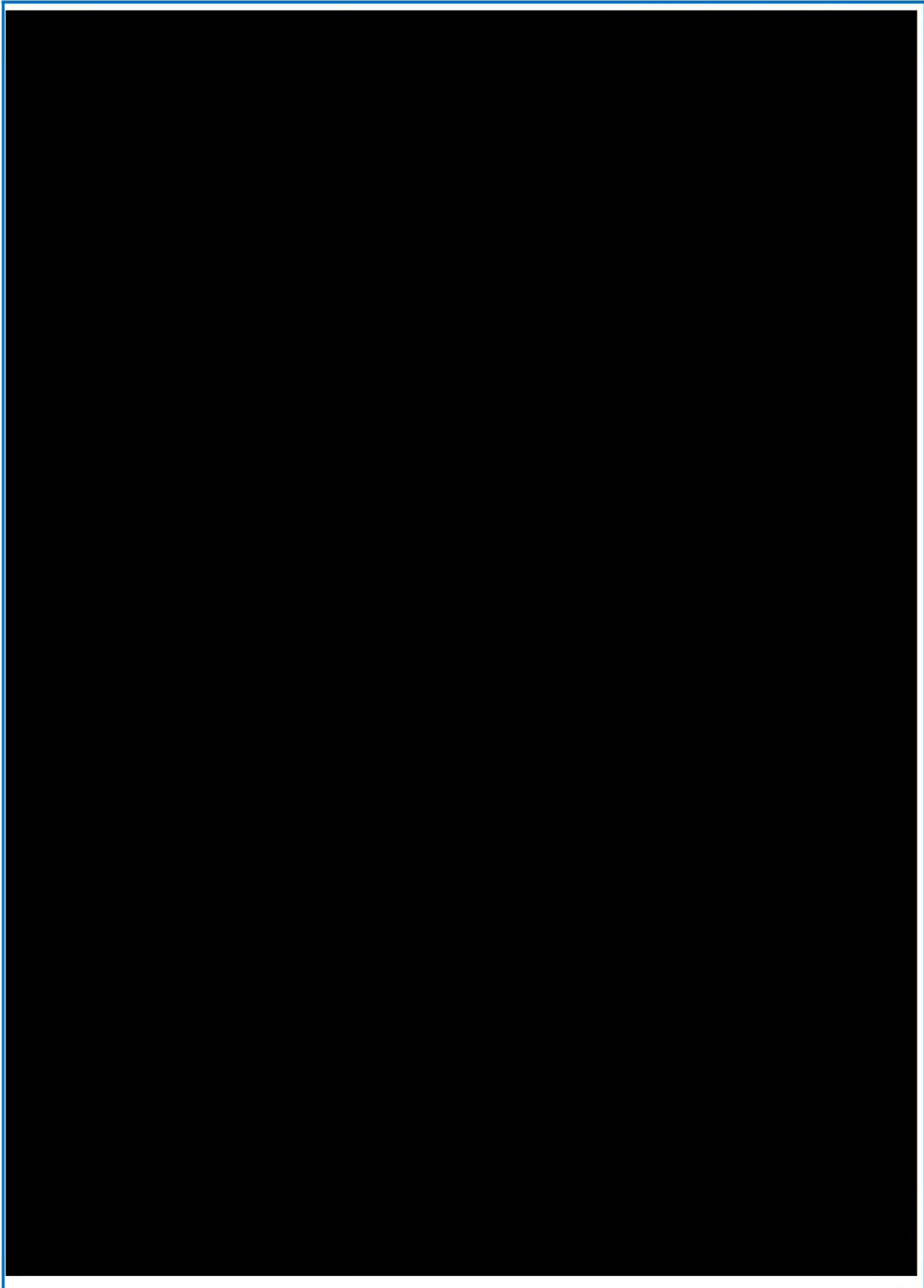
草津市スポーツ協会は、長年にわたり草津市のスポーツ振興を支えてきた主要団体です。現指定管理期間においても、地域のニーズに応える多彩な事業を展開しており、教室事業ではサッカー（キッズ・ガールズ）や剣道教室を実施、大会事業ではチャリティーゴルフ大会、グラウンドゴルフ大会、武道祭などを開催しています。また、スポーツ少年団の大会として、軟式野球大会、バレーボール大会、剣道大会、バスケットボール大会など、世代を超えた交流と競技の場を提供しています。

草津市スポーツ協会を代表とする『くさつスポーツアクティブ事業体』は、これまで培ってきた経験と地域との信頼関係を活かし、今後も草津市のスポーツ振興を継続的かつ発展的に推進してまいります。

地域住民の健康づくりや青少年の健全育成、さらには高齢者の社会参加促進など、スポーツを通じた多面的な社会貢献を目指し、行政・教育機関・地域団体との連携を強化しながら、誰もが参加しやすい環境づくりに努めてまいります。

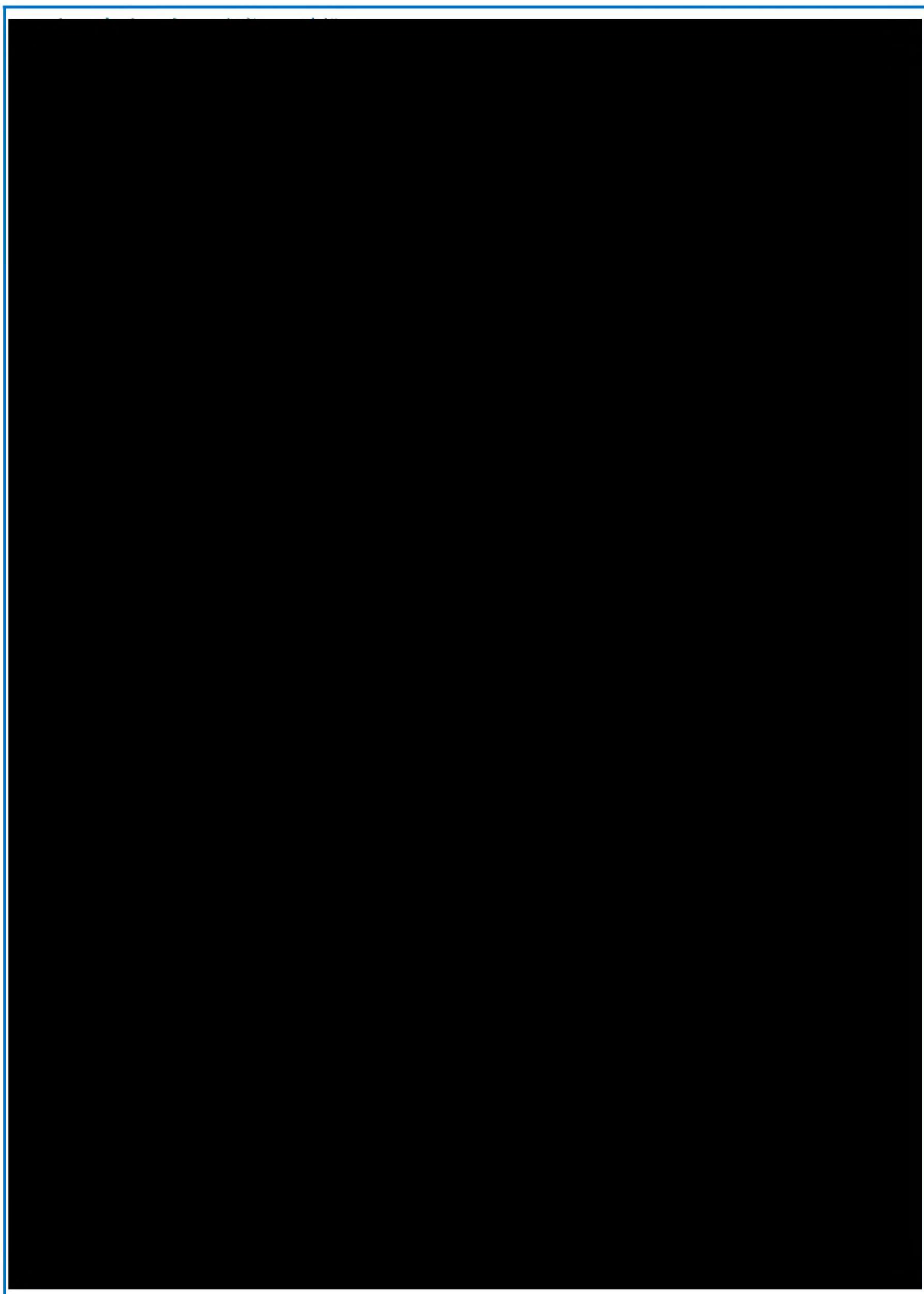
事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)



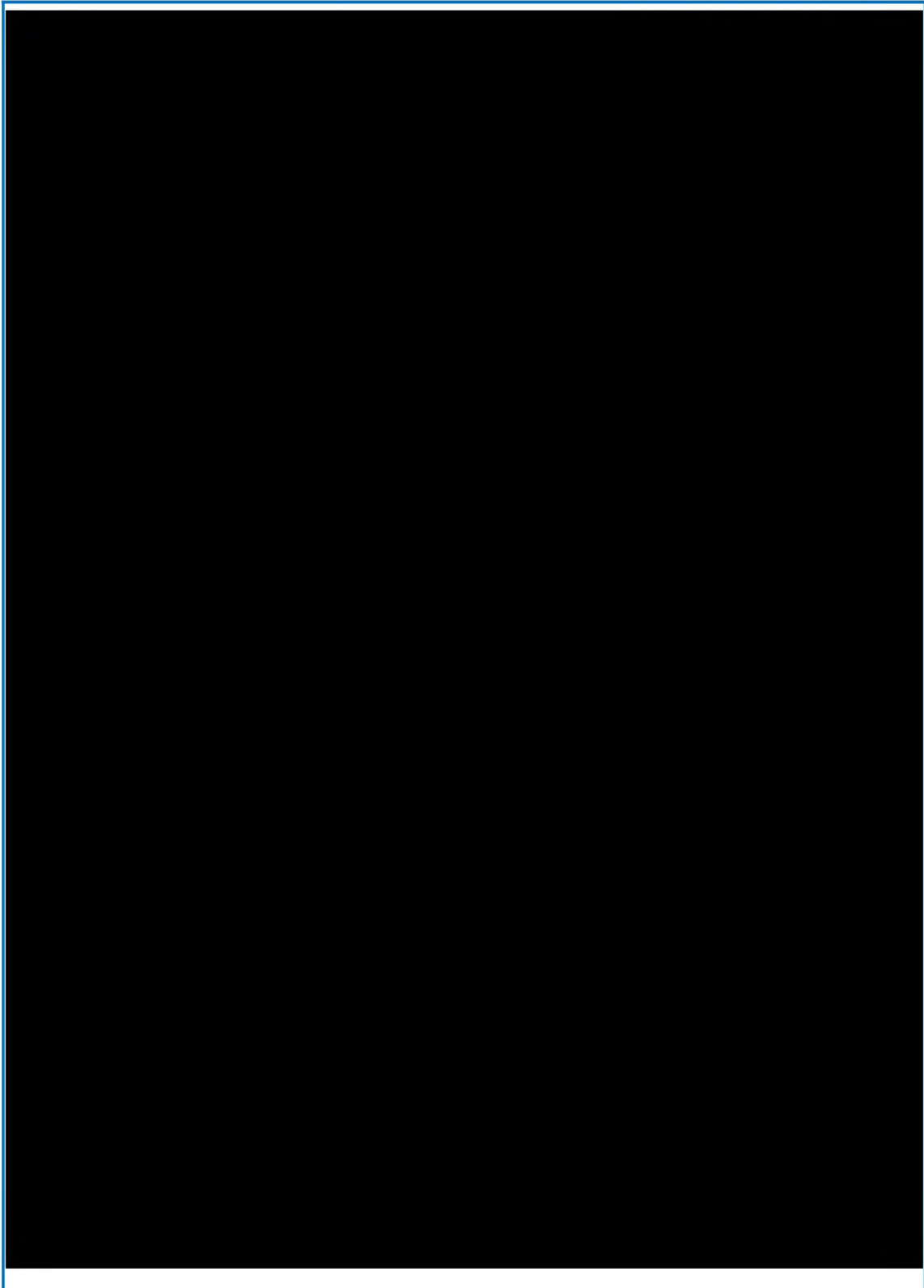
事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)



事業運営に関する計画

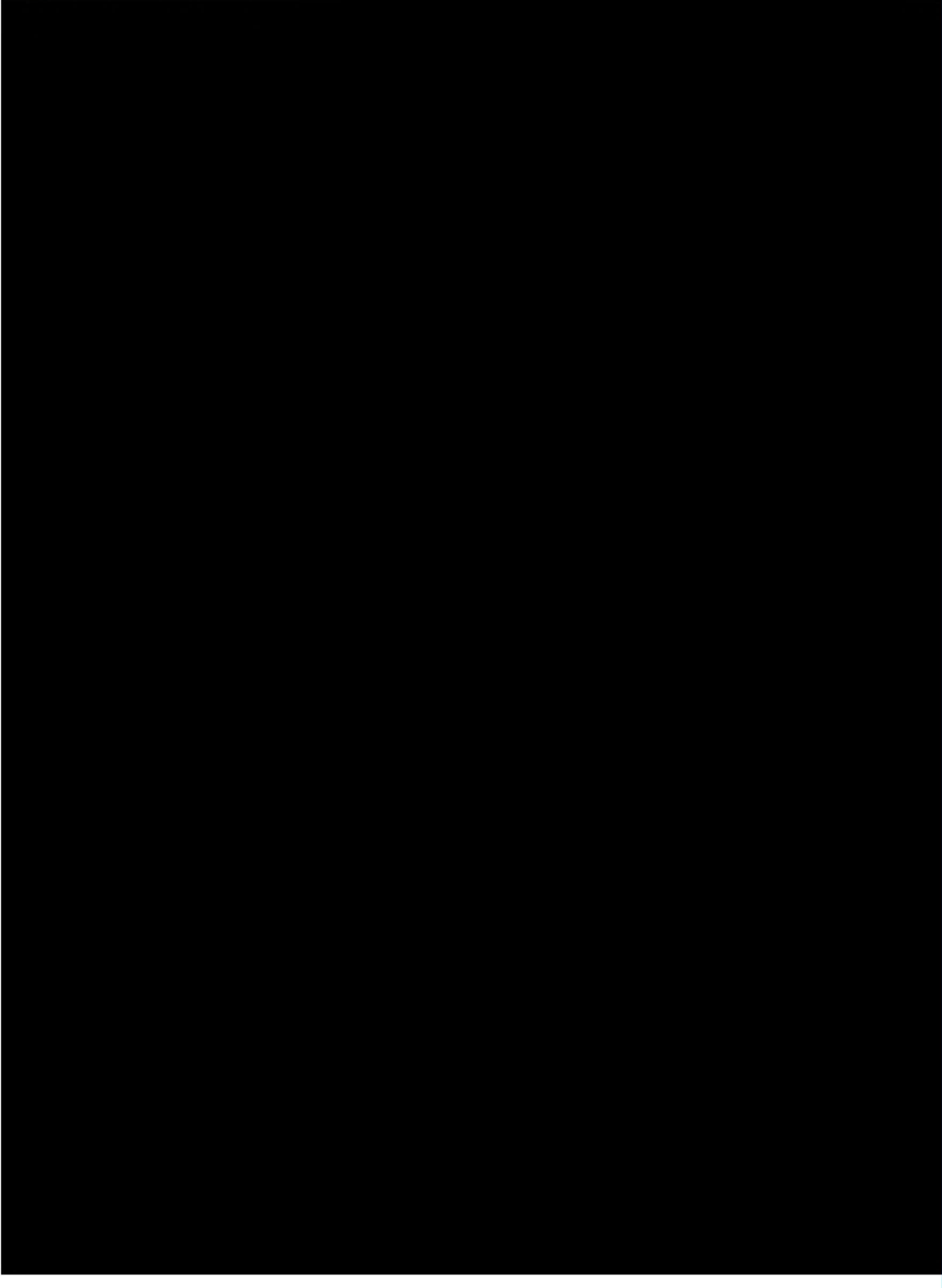
(草津市立社会体育施設等)



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

④その他、地域貢献事業



事業運営に関する計画

(草津市立社会体育施設等)

(2) 地域への貢献の実績

①草津市内での貢献実績 (現指定管理者 構成団体：草津市スポーツ協会)

現在の指定管理事業者（構成員：草津市スポーツ協会）は、この15年間、収益金の還元や施設の無料開放等、様々な形で地域に貢献してきました。次期指定管理期間も、草津市に根差した団体として、市民のことを一番に考え、地域貢献を果たしていきます。

●スポーツ事業の推進

草津市スポーツ協会は、草津市スポーツ推進計画の推進を図り、地域のスポーツ振興と市民の健康づくりを目的として、幅広い分野で展開しています。

市内で開催される大会やイベントに対しては、共催や後援という形で積極的に支援を行っています。

スポーツ協会が行っている事業の実績としては、草津市立武道館で開催の『武道祭』や、長く続く『草津市駅伝競走大会』など、いずれも地域に根差したイベントとして高い評価を受けています。

また、様々なスポーツで活躍や記録を残された個人や団体の努力や栄誉を称えるため表彰を行うなど、さらなるスポーツ活動の推進と拡大を図っています。